

無料

定員 各20名  
(先着順)

※定員に達し次第締め切り  
させていただきます。

／ 広げよう! ／

# 子どもの居場所!

## 子どもの居場所づくり実践研修会

### 対象

子ども食堂をこれから始める方、  
実践者、関心のある方

市町村行政職員、  
市町村社会福祉協議会職員

社会福祉法人、NPO法人、  
ボランティア団体、協同組合、  
企業、学校等の職員

現在、青森県内の地域でも、子ども食堂等の子どもの居場所づくりの活動が広がってきています。地域の人たちとの出会いによって、子どもたちが自分らしく過ごせる「子どもの居場所」が今の時代とても必要となっています。

「子どもたちを支えたい」という想いをどのように形にして設立・運営していけるか、子ども食堂、学習支援、多世代交流活動などの実践的な内容を学んでいきます。

本研修会は、子どもの居場所をこれから始める方々や、活動を地域に定着させ広げていくことを目的に開催していきます。

	日時	内容	会場
第1回	9/26(日) 14:00~17:00	基礎講座1 「地域における子どもの居場所づくりの重要性」 講師:湯浅 誠(認定NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ理事長)	オンライン
第2回	10/3(日) 9:30~12:00	基礎講座2 「弘前市における現状とそれを支える地域活動の取り組み」 講師:李 永俊(弘前大学ボランティアセンター長)	
第3回	10/17(日) 9:30~12:00	基礎講座3 「実践活動報告会」 講師:奈良 清芽(三岳寺子屋)/中田 早樹子(東地区ちいきの絆食堂)	
第4回	10/31(日) 9:30~12:00	実践講座1 「活動資金確保」 講師:鹿内 葵(一般社団法人みらいねっと弘前代表理事)/葛西 裕美(青森県社会福祉協議会)	泉野多目的コミュニティ施設 多目的室 弘前市泉野3丁目6-2
第5回	11/14(日) 9:30~12:00	実践講座2 「安全性と食品の取り扱い」 講師:佐藤 千恵子(八戸学院大学准教授・管理栄養士)	または、 オンライン
第6回	12/5(日) 9:30~12:00	実践講座3 「場所の確保と運営体制」 講師:調整中	
第7回	10月~12月	現場実習(2か所) 活動日と参加者の希望を調整して、現場実習を2回実施します	各実習団体先
第8回	12/19(日) 9:30~12:00	実践ワークショップ 「実際の子どもの居場所を作ってみよう」 講師:鹿内 葵(一般社団法人みらいねっと弘前代表理事)	泉野多目的 コミュニティ施設 多目的室

# 広げよう! 子どもの居場所! 子どもの居場所づくり実践研修会

## 講師プロフィール

湯浅 誠(社会活動家。東京大学先端科学技術研究センター特任教授。認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長。)

1969年東京都生まれ。東京大学法学部卒。東京大学大学院法学政治学研究科博士課程単位取得退学。1990年代よりホームレス支援に従事し、2009年から足掛け3年間内閣府参与に就任。内閣官房社会的包摂推進室長、震災ボランティア連携室長など。政策決定の現場に携わったことで、官民協働とともに、日本社会を前に進めるために民主主義の成熟が重要と痛感する。2014~2019年まで法政大学教授。

著書に、「つながり続ける こども食堂」(中央公論社、2021年)、『子どもが増えた! 人口増・税収増の自治体経営』(泉房穂氏との共著、光文社新書、2019年)、『なんとかする』子どもの貧困』(角川新書、2017年)、『ヒーローを待っていても世界は変わらない』(朝日新聞出版、2012年)、『反貧困』(岩波新書、2008年、第8回大佛次郎論壇賞、第14回平和・協同ジャーナリスト基金賞受賞)、『貧困についてとことん考えてみた』(茂木健一郎と共著、NHK出版、2010年)など多数。

ヤフーニュース個人に連載中の「1ミリでも進める子どもの貧困対策」で「オーサーアワード2016」受賞、法政大学の教育実践で「学生が選ぶベストティーチャー」を2年連続で受賞。「こども食堂安心・安全プロジェクト」でCampfireAward2018受賞。他に日本弁護士連合会市民会議委員など。



### 李 永俊(弘前大学人文社会科学部教授・同地域創生本部ボランティアセンター長)

専門は労働経済学。青森県を中心とした地方の雇用問題、若年者の地域間移動などに関心が高い。また東日本大震災の発生後は、教員有志とともにボランティアセンターを設立し、弘前市と協働で岩手県野田村への支援・交流活動を続けている。2018年から学習支援、子ども食堂、フードバンクなどの活動を開始し、現在は、みらいねっと弘前と連携して子どもの居場所づくりに取り組み中。



### 三岳寺子屋(学習支援(宿題等)&放課後の居場所)

宿題など自己の課題に取り組むほか、遊びを通して学びあう場になっている。「ただいま」といえる場所を実践中。三岳集会所を会場に、毎週金曜日に活動中。



### 葛西 裕美

(青森県社会福祉協議会社会貢献活動推進室室長。社会福祉士・精神保健福祉士)

青森県社協では、2018年から「こども食堂開設セミナー」「こども食堂ネットワークミーティング」「こども居場所づくりコーディネーター養成講座」等を毎年開催。2019年4月から「みんなの居場所」の登録制度を運用開始し、各種助成金の情報や情報提供等を実施中。コロナ禍における活動支援のため、モバイルWifiや感染対策グッズなども無料で貸出中。



### 東地区ちいきの絆食堂

(多世代交流の場づくり、子どもたちへの学習支援、食育推進事業)

月1回程度、弘前市の東地区で活動中。地域の誰もが集える食堂運営を目指しており、みんなで支え合う地域の繋がりを構築している。コロナ禍で集まれないときには、地域のお店と連携して、お弁当の配布なども実施している。弘前市総合学習センターを中心に活動中。



### 佐藤 千恵子(八戸学院大学准教授・管理栄養士)

2016年にゼミナール活動の一環として、学生たちと一緒に八戸初の子ども食堂を立ち上げた。以来、県社会福祉協議会ははじめ多くの方々からご支援いただき、現在は八戸市内に7ヶ所の子ども食堂が開設され、それぞれが特色ある子ども食堂を運営している。が、コロナ禍の現状ではその活動も制限され、再開の目途も立っていない。それでも子どもたちの笑顔に再び会えるよう、今できることを一緒に考えてみたい。



### 鹿内 葵(一般社団法人みらいねっと弘前 代表理事/社会福祉士)

令和元年度にみらいねっと弘前を立ち上げ、活動にあたる。現在は、弘前圏域のこどもの居場所ネットワーク会議などを開催し、子どもの居場所づくりの活動をしている団体の側面的支援をおこなっている。そのほか、フードバンク事業や、こども農業部、再生可能エネルギーの普及・地産地消の仕組みづくり、各種研修会の開催などに地域の皆さんと一緒に取り組み、地域の活性化に取り組んでいる。



### 一般社団法人みらいねっと弘前とは?

子どもの貧困、食生活の乱れ、環境問題、エネルギー問題、生きていくうえで必要な環境を将来的なビジョンから支援し、新しい地域の仕組みづくりを目指して活動しています。

主な取り組み こどもの居場所づくり支援事業、フードバンク事業、こども農業部、エネルギーの地産地消事業など

### お申し込み

**FAXまたはメール、または申し込みフォームよりお申込みください。お申し込みの際は以下の内容をお伝えください。**

※参加定員を超えた場合には、参加できない旨を連絡させていただきますが、申し込み後連絡がない場合は直接会場へお越しください

**お名前/所属団体(所属されている場合)/ご住所/電話番号/メールアドレス/参加希望日(第2~6回目に参加する場合 → オンラインで参加/会場で参加 どちらで参加かをお伝えください。)**

#### メールでの申し込み

下記メールアドレスへ必要事項をお送りください。  
**mirainethirosaki@yahoo.co.jp**

#### お申し込みフォームでの申し込み

右記申し込みフォーム(QRコード)よりお申込みください。



#### FAXでの申し込み

**0172-55-6791**

下記にご記入のうえ、お送りください。

所属団体 <small>所属されている場合</small>	お名前							
ご住所								
電話番号	メールアドレス							
参加希望日	第1回	第2回 会場 オンライン	第3回 会場 オンライン	第4回 会場 オンライン	第5回 会場 オンライン	第6回 会場 オンライン	第7回	第8回

※第1回はオンラインのみとなります。オンライン参加が難しい方は場合ご相談ください。